

9.10 参議院

厚生労働委員会での質疑

ブラッドパッチ療法 保険適用になりますか？

政府答弁

関心の高い病態であるため国としては

皆さまの御期待に応えられるように検討したい

<http://csf-japan.org>

CSF JAPAN

CSF JAPAN

脳脊髄液減少症ホームページ

脳脊髄液減少症を知っていますか？

トップ ごあいさつ 脳脊髄液減少症とは？ 勉強会 ご相談 お問い合わせ 報道 ご寄付受付 活動ブログ

このサイトについて

当サイトをご利用閲覧いただきありがとうございます。

当サイトは来年（2016年度）のブラッドパッチ療法保険適用後の医療現場での混乱を極力少なくするために開設したサイトであり、日本財団の助成事業として財団のアドバイスなどをいただき運用しているものであります。

9年間続きました厚生労働省研究班の脳脊髄液減少症の治験は、今年（2015年度）最終段階を迎え、世界で初の公的機関による脳脊髄液の漏出の診断基準となり、権威あるものとなりました。しかし、今回の治験では脳脊髄液減少症のすべての患者救済を可能とする診断基準は難しいものとなります。※現時点の医学では脳脊髄液量を直接評価するのは困難であるためです。

脳脊髄液減少症

※脳脊髄液量を直接評価するのは困難！

髄液漏出症

- ・脳脊髄シンチ
- ・MR ミエロ
- ・CT ミエロ

低髄液圧症

- ・頸部MRI（造影剤投与）
- ・髄液圧測定

医師専門・脳脊髄液減少症データベースサイト

2015年12月頃完成予定 沖縄・島根・静岡 データベース 行政全面応援



嘉山厚労省脳脊髄液減少症研究班

2014年事業報告の詳細なども記載



☆ポイント 来年度ブラッドパッチ療法は保険適用となるのか？



参議院 House of Councillors,
The National Diet of Japan

参議院厚生労働委員会 2015.9.10 2名の議員が
質問にたち、来年度保険適用の有無に迫った



厚生労働省保健局長 唐沢 剛氏が答弁



公明党 長沢広明 民主党 西村まさみ

**関心の高い病態であるため国としては
皆さまの御期待に応えられるように検討したい**

2015年度助成事業の報告 <http://blog.canpan.info/npo-aswp/>



5月度 ※熱海にてDB事業の会議

参加者(厚労省脳脊髄液減少症研究班所属3名の医師と中井等)
内容 DBとHPの内容について検討



2015.5.17熱海会議



2015.6.26 沖縄

6月度 ※沖縄県知事にDBホームページを県内のすべての医療機関に
通達し今後の治療の参考になるようにHPアクセス要望

県全面協力の意向

※DBとHPの準備 及び大学病院とDBの打ち合わせ
ドメイン取得 レンタルサーバーと契約など



2015.8.28 静岡

7月度 ※島根県知事にDBホームページを県内のすべての医療機関に
通達し今後の治療の参考になるようにHPアクセス要望

県全面協力の意向



2015.7.23 島根



2015.9.8 岡山会議

8月度 ※静岡県知事にDBホームページを県内のすべての医療機関に
通達し今後の治療の参考になるようにHPアクセス要望

県全面協力の意向

9月度 岡山にて 大学病院とのDB会議 二度目

参加者(厚労省脳脊髄液減少症研究班所属2名の医師と中井等)



2015.6世界発信事業ホームページ開設

DBホームページ関連の記事掲載について

6月27日 沖縄琉球新報 沖縄タイムス 7月10日 公明新聞
7月24日 山陰中央新報 島根日日新聞 8月2日公明中国
8月9日 中国新聞
8月29日 静岡新聞 中日新聞



8月24日
山口重則 静岡県健康福祉部長に
本紙 会報24号 50部 DVD50枚の贈呈目録を提出

今後47都道府県に対し本紙
DVDを贈呈していく予定



さあ医師の皆さまアクセスを！！



www.csf-japan.org

2015.12.31完成予定
2016.4.1 サービス開始予定

世界発信HPの特徴(和文 英文)

- 1) ガイドラインの閲覧
- 2) 症例数の多い厚生労働省研究班所属の医師3名に相談フォーム
その他メールにより直接コンタクト可能
- 3) 脳脊髄液減少症関連の論文の閲覧
- 4) 検査法 治療法の動画解説付きを閲覧可能
- 5) 画像の典型例 非典型例を掲載

注) 本サイトは医師専用サイトです
様々なデータを見るには登録しログインする必要があります



厚生労働省 脳脊髄液減少症研究班 2014年度研究報告について

今回の最大のポイント

- 1) FDSS(floating dural sac sign)主流(傾倒)が誤りと判断
- 2) 2年連続のブラッドパッチ治療の効果認める報告
- 3) PVE(Pressure Volume Enhancement)の今後に期待
- 4) RIクリアランス検査の評価

1) FDSS(floating dural sac sign)主流(傾倒)が誤りと判断について

会報23号で研究班の考えがFDSS検査を主とする流れに班自体が偏っていると記載した問題に、症例数の多い医師等の論文、その他の報告により、班は検討重ねFDSSだけでは「脳脊髄液漏出症」は診断できないと判断。「脳脊髄液漏出症」はGD造影MRIやCTミエロその他の検査と併用し検査する必要があるとしている。

2) 2年連続のブラッドパッチ治療の効果について

2年連続「有効かつ安全である治療法であると期待される」と表記されています。
また、最近硬膜下血腫をともなった、髄液漏れの報告(外傷、特発性)が増えています。それにともない将来、本疾患の認知およびブラッドパッチ治療は絶対必要な手技であると予想される事を踏まえ、次のように記載されている。「慢性硬膜下血腫を伴った症例等では、ブラッドパッチ治療により一過性に頭蓋内圧が上昇し、意識障害や徐脈を呈する場合があります注意を要する」と

3) PVE(Pressure Volume Enhancement)の今後の期待について

以前から脳脊髄液減少症研究班より報告がある、最近ではK大(脳外科)の症例がJNSに論文が記載された事で、話題になっている。既存の漏出部位(部位が特定できない)に造影剤などを注入する事で漏出量が増え、MRIやその他の検査で部位が特定できるようになる事である。今後研究班としても検討する方向でいるとされている。

4) RIクリアランス検査の評価について

RIクリアランス検査において「ポジティブ」つまり漏れているという結果がでていますが、脊髄造影やCTミエロ検査では「ネガティブ」となった症例を再度、細矢先生(画像中央判定)等が検討した結果7例中4例に脊髄造影やCTミエロ検査に漏出部位が見つかったとある、「個人の読影の差もあるが」RIクリアランス検査法は今後も重要検査方法となるのではないのでしょうか



ブラッドパッチ治療
先進医療 2015.9.1現在
31都道府県 46施設



DVD 2016年ブラッドパッチ保険適用阻むものは何もない
脳脊髄液減少症DBの紹介脳脊髄液減少症最新情報2015

¥1000円(税込) 送料 180円

好評発売中

■第1章
「脳脊髄液減少症患者の現状の問題点」

■第2章
初めての方でもわかるように厚労省研究班が設立されるまでの内容を紹介、昨年の先進医療会議の成績。さらに保険適用後の対策を紹介。日本財団の助成事業を元に脳脊髄液減少症データベースを準備中であり、保険適用後「はじめて治療する医師が安心して治療できる体制を整えています」。

■第3章
労災認定が各地でされていますが、典型例画像をわかりやすく漏出部位を色付けして紹介。2症例を記載しました。その後、社労士チームの活躍の様子、弁護士(プロフェッショナル賛助会員)の紹介など。

脳脊髄液減少症の諸問題解決は「専門家に相談がベスト」

障害年金の受給の相談 交通事故その他の相談

社会保障、そして交通事故案件については、いよいよ専門家に相談されるのは一番良いのではと経験に基づき我々は考えております。 当会ではそれぞれ、障害年金や社会保障に関する社労士、そして交通事故案件に詳しい弁護士のチームがあります。 圧倒的な情報量がある両チームをよろしくお願ひします。

社労士チームに関する情報はこちら

<http://www.npo-aswp.org/catego3-08.html> (当会HPから閲覧可能)

弁護士チームに関する情報はこちら(プロフェッショナル賛助会員)

<http://www.npo-aswp.org/catego3-03.html> (当会HPから閲覧可能)



2014年10月7日
厚生労働省 年金局
国会議員との障害年金懇談会



プロフェッショナル賛助会員

定期的弁護士勉強会
弁護士間メールリストで情報共有



脳脊髄液減少症世界発信DB事業について
本事業は日本財団一般助成事業2016年度において行われています。
収支に関するお問い合わせその他は当会事務所まで。日本財団様には深く御礼を申し上げます。



仮認定 特定非営利活動法人 脳脊髄液減少症患者・家族支援協会

現在認定NPO法人申請中

和歌山県指令県民第728号

【和歌山事務所】 TEL.073-461-0317 FAX.050-1028-6789

【首都圏事務所】 〒2320071 横浜市南区永田北1-1-15 コーポラス永田402号
脳脊髄液減少症患者・家族支援協会 事務局 中井宏苑

TEL. 045-716-4646 FAX. 045-716-4646

(URL)<http://www.npo-ASWP.org> (e-mail)staff@npo-ASWP.org

郵便振替口座番号：00950-9-181981

口座名称：特定非営利活動法人 脳脊髄液減少症患者・家族支援協会

禁無断転載上映複製 発行人：特定非営利活動法人 脳脊髄液減少症患者・家族支援協会

落丁・乱丁があれば、事務局にお送りください。送料事務局負担でお取り替えいたします。

会員さん募集!

入会を希望される方は、メール又はお電話でご連絡ください。申し込み用紙を送付しますので必要事項を記入し、会費同封の上ご郵送ください。

- 正会員(個人)
入会金5000円 年会費10,000円
- 賛助会員(個人) 入会金 5,000円
年会費5,000円
(年会費寄付扱い税控除の対象)
- 団体賛助会員 入会金 50,000円
年会費200,000円
(年会費寄付扱い税控除の対象)
- スポンサー賛助会員 年会費
(年会費寄付扱い税控除の対象)
30,000円

3000円以上の寄付は税控除の対象になるのが仮認定NPO法人のメリットです

